健診費用の助成と健康づくり教室開催

無受診世帯には記念品を贈呈――――南丹市

南丹市では、健康の保持増進と疾病の早期発見による医療費の抑制を図るため、「短期人間ドック」と「健康診査」の費用助成と、被保険者の生きがいと健康づくりの意識啓発を図るため、健康づくり教室開催やウォーキング支援など保健事業を推進しています。

国保の概況

被保険者数は減少続く

平成 19 年 4 月 1 日現在の国保の加入世帯は、７，４７９世帯、被保険者数は１４，５６４人で、国保加入率は、世帯で５６．０％、被保険者で４０．４％となっています。
市全体の世帯数は微増し、人口は減少傾向にあり、国保の被保険者数も減少傾向にあります。しかし、退職被保険者の加入者数は増加傾向にあります。

医療費適正化へレセプト点検充実

高齢被保険者の加入増加により、年々医療費が増加しています。このため、レセプト点検の強化や被保険者の健康管理、健康づくりのための事業を行い、医療費の適正化を図っています。

レセプト点検は、嘱託職員を４名雇用し、資格、内容点検を実施し、平成１７年度は、一人当たり３７７万３千円の財政効果を図ることができました。今後も、レセプト点検を充実し、医療費の適正化により無駄な医療費を排除し、徹底した国保事業の安定化を図るため、職員研修を積極的に行っていくこととしています。

収納率向上へ個別相談、指導など

本市国民健康保険の収納率は、近年の経済の低迷とともに低下を余儀なくされてきており、国保財政は厳しいものとなってきています。このため通例の国民健康保険事業に加えて、保険税収納率向上特別対策事業として対策本部の開催や月間の設定、計画の策定や意見交換、職員等の報告会開催、調査研究などの事業を実施しています。また、特別収納活動として、呼び出しや訪問による個別の納付相談、指導、夜間等の電話催告により一層の収納率の向上を図っています。

保健事業の取り組み

健診などの費用助成で受診者増える

　保健事業の取り組みとしては、被保険者が自らの健康の保持増進と、疾病予防を目的とした、「短期人間ドック」「健康診査」の助成を行っています。

「短期人間ドック」では、当該費用（基本分）に対し７千円の助成を行い、基本健診やがん検診などの「健康診査」では、当該費用の個人負担分を助成しています。

　「短期人間ドック」の受診者数は、前年度比４６人増の２６８人となり、「健康診査」では、前年度比２１７人増の４，６３４人で、被保険者の健康への関心も高くなっていることが伺えます。

健康づくり教室を開催

「健康診査」の受診者のうち、生活習慣病に関する判定の有所見者７４２人に対して“健康づくり教室”の案内チラシを送付して参加を呼びかけました。教室の中では、国保連合会の協力を得て、生活習慣記録機（ライフコーダ）を利用するなど、参加者に教室内で自分の生活を振り返る機会を多く作ることで、より具体的に自分にみあった健康づくりに取り組んでいただけるよう支援をしました。

また、地域で自主的にウォーキングサークルをつくり、活動されている方々にウォーキングタオルを配布しています。仲間がいることは運動を継続していくための大切な要因となっており、また、教室に参加し運動に取り組み始めた方の受け皿として地域の健康づくりの役割も担っています。

無受診世帯に記念品

これらの取り組みを踏まえ、自分の健康保持増進の意識をもって、１年間無受診であった世帯に対し記念品を贈呈する健康増進規定を設け、健康に対する意識の高揚に努めています。平成１８年度は２４８人に対し記念品を贈呈しました。

国民健康保険被保険者の動向

年度	総世帯数（世帯）	総被保数（人）	世帯加入割合（%）	被保数加入割合（%）
16	7,447	15,050	56.3	41.4
17	7,521	14,946	56.6	41.3
18	7,479	14,564	56.0	40.4

一人当たり医療費　　単位（円）

年度	一　般	退　職	老　人	合計
16	222,910	373,785	702,074	400,100
17	226,692	390,560	713,267	405,670
18	229,297	420,330	745,332	418,905

一人当たりの保険税額　　単位（円）

年度	一　般	退　職	全体
16	55,893	79,014	58,871
17	61,226	82,836	64,311
18	64,400	88,713	68,012

南丹市

平成１８年１月１日、園部町、八木町、日吉町、美山町が合併し、ふるさとに希望と誇りをもち、安心して暮らせる“ぬくもりのあるまち”を基本理念に南丹市が誕生しました。

南丹市は、京都府のほぼ中央部に位置する面積 616.31 平方キロメートル（京都府の 13.4 パーセント）のまちです。市域は、緑豊かな自然に恵まれた地域で、大半を丹波山地が占め、北部を由良川が、中・南部を淀川水系の桂川（大堰川）が流れ、その間にいくつかの山間盆地が形成され、南部は亀岡盆地につながっています。

道路は、北部に国道 162 号、南部に国道 9 号、国道 477 号、国道 372 号、京都縦貫自動車道が走っており、域内を走る各府道が国道へのアクセス道路となっています。また、鉄道はＪＲ山陰本線が走っていて、京都市などの通勤圏にあり、京都・園部間の完全複線化も実施されます。